「豊田っ子ふれあいスクール実行委員会」が優良青少年育成団体受賞

5月17日(金)、「豊田っ子ふれあいスクール実行委員会」の皆さんが、塩谷地区青少年連絡協議会から優良青少年育成団体として表彰されました。この表彰は、地域の大人と子どもたちが交流を図ることで社会性や自主性、創造性を育んでいる功績が認められたものです。この実行委員会は、地域の住民が、「地域の子どもは地域で育てよう」を合言葉に、平成22年10月に学童保育に変わるものとして立ち上げました。山本元之実行委員長をはじめ23人のボランティアが月曜日から金曜日の放課後の時間帯を利用し、絵手紙や昔遊び、また、餅つきやクリスマス会を企画し実施しています。山本会長は「これからも地域の子どもたちのために頑張っていきたい」と話してくれました。

山本元之実行委員長

普段の活動の様子

クリスマス会などのイベントも開催

ポピーの鑑賞会

6月4日（火）、市身体障がい者福祉会が育てている川崎反町地内のポピー畑で鑑賞会が行われました。この畑は、身体障がい者の機能回復や健康増進、社会貢献を目的に会員の皆さんが手入れを行っており、今年で8年目を迎えました。この日集まった約25人の皆さんは、きれいに咲いた花を楽しんだ後、食事会を行うなど親睦を深めていました。

全国大会へ出場決定

5月18日(土)、県立県南体育館で、第28回栃木県道場少年剣道大会が行われ、市の道場「五葉館」の皆さんが、小学生団体の部で見事優勝し、7月に行われる全国大会への出場を決めました。また個人の部においても長屋大我くんが優勝し、9月に行われる全国大会への出場を決めました。市長を表敬訪問した皆さんは「全国大会でも上位を目指す」と力強く話してくれました。団体の部2位には、同じく矢板市の道場「春峰」の皆さんが入りました。

自主防災で災害に備える

6月2日(日)、第8回土砂災害・全国統一訓練が、第二農場地区で行われました。今回の訓練では、平成24年度から各地域で作られた自主防災組織と市の災害対策本部や関係機関との連携強化や住民の防災意識の高揚を図ることを目的として行われました。

近年、台風や豪雨の影響により全国各地で土砂災害が多発しています。その被害を最小限に留めるためには、地域の皆さんが、自助の精神を持って行動することが不可欠であると言われています。

第二農場自主防災組織の平山会長も「実際に訓練を行ってみて気付く所が多くあり、とても有意義だった。今後とも切磋琢磨し、地域みんなと災害に備えたい」と話していました。

《当日の訓練の流れ》
12時　市内全域に大雨洪水注意報発表
12時30分　市内全域に大雨洪水警報発表
　矢板市災害警戒本部設置
　各部消防団が巡回を開始
13時　第二農場地区に
　土砂災害警戒情報発表
　矢板市災害対策本部設置
13時15分　前兆現象が現地区長より報告
　現地指揮本部を設置
13時25分　更なる前兆現象が現地本部より報告
　第二農場地区住民に避難勧告発令
　連絡網により住民の避難開始
13時35分　自力で避難することが困難な
　要援護者避難支援活動
　（救急車・消防車）
14時　地区住民全員の避難完了
※この後、矢板土木事務所による防災気象講習会が行われました

栃木県民の日記念イベント

6月15日(土)、県庁周辺で県民の日記念イベントが行われました。オープニングセレモニーでは、平成25年度の各種功労者および優良団体表彰や栃木県誕生140年記念コミュニティ活動功労者知事表彰が行われました。

また、県民広場特設ステージにおいて「とちキャラーズ祭り」が行われ、矢板市のマスコットキャラクター「ともなりくん」が登場し、遊びに来ていた皆さんを楽しませていました。

《市内の受賞者》
地神三千代さん（社会福祉功労）
坂主リツさん（保健衛生功労）
片岡地区コミュニティ推進協議会
（コミュニティ活動功労者知事表彰）

片岡地区コミュニティ推進協議会　三好会長